

平成27年度 第五回宜野湾市市民協働推進協議会 会議録（要旨）

日時：平成28年1月19日（火）午後7時00分～午後9時05分

場所：宜野湾市役所 第三常任委員会室

出席：岩田委員長、宮城政一副委員長、稲垣暁委員、新城清子委員、島袋盛子委員、宮道喜一委員、宮城美由委員、中本岩郎委員  
事務局（3名）

欠席：前田有得委員、国吉孝博委員

開会

～事務局より前回協議会内容の振り返りと議題1実施計画書全項目  
修正確認の重点施策一覧について説明～

**委員** 重点施策一覧に振られている数字に「連番」や「H」の表記をつけてはどうか。

**委員** タイトルの下にある、「市の実施する計画であり、施策の実施主体は全て市となる」の文字は大きく表示した方がいい。

**委員** 中間支援という言葉は一般的には分かりにくいので、重点施策一覧の中に注釈を入れてはどうか。

～事務局より「具体的施策 重点施策推進時期及び内容」と  
重点施策相関関係図について説明～

**委員** 中心となる中心系施策は、「地域づくり講座」「各主体のマッチング」「市職員研修・協働推進員配置」が中心なのですか。

**事務局** 前回のワークでは、3つの施策サイクルを回していくところが中心の話になっており施策14中間支援機能の研究、人材・団体の育成に繋がる、この図では施策サイクルを中心としています。

**委員** 指針の中で「協働による取り組みを進める4つのプロセス」のサイクルを回していくための担い手を育成していくために4つの施策指針があるので、指針にある基本サイクルとの繋がりが示されると分かりやすい。

**委員** これまで施策体系図などで使用してきた言葉を統一して使用した方がいい、また4つの施策指針どこかに入れたほうがいい。

**委員** 4つの施策指針とPDCAサイクルを繋げにくいのは、相関関係図は、ワークの成果を図式化したもので、具体的施策を深掘していくのか、指針の基本にも戻って施策の軌道修正をするのか、分岐点だと思う。

**委員** 相関関係図は指針に基づいた区分けでやっていく必要がある。

**事務局** 相関関係図の矢印の流れは、各施策が他の施策に繋がることで効果が高まることで、協働を生み出す人を育て、環境を整える。そうするとそこを担う人ができて、環境が整いPDCAのサイクルが回しやすくなる。そこを生み出す4つの施策指針を背景に12の施策を並べ替えて、流れの配置を考え、そこで生み出された事例がPDCAサイクルを回せるようなイメージで考えてみます。

**委員** 重点施策を行う時の流れが、相関関係図のイメージだとすると、PDCAサイクル

とは別に考えた方がいいのではないか。

**委員** 市民の方が見たときにより簡単に取組ができるようなものを作った方がいい。そうになるとPDCAサイクルのより簡単な図式があって、そこから重点施策一覧にいてて相関関係図といけばより分かりやすい。

**委員** 相関関係図の〇〇系という表現と「官・民」という言葉の使い方は違和感を感じる。

～事務局よりその他計画書全体について説明～

**委員** 計画書全体の流れとして、市の計画の位置づけの次に指針の内容があり、それに基づいて施策体系図につながるほうが次の章に繋がる。計画実施期間は後ろでいいと思う。

**委員** 4つの施策指針が、どういう位置関係で繋がって機能していくのかということを示す何かがあった方が欲しいと思いました。

**事務局** イメージとして指針の「協働の主体と市民の関係図」の中で市民個人を育てるのが(1)市民参加の促進の柱で、団体を育てるのが、(2)協働の主体の育成・支援の柱で、協働をしやすくする環境づくりが、(3)協働による取り組みをしやすくするための環境整備の柱で、最終的に計画を振り返るのが(4)本指針・施策の評価・見直しの柱と考えているが、それを図式化して分かるようなものを考えていきたい。

**委員** 宜野湾市の現状を表す数字をコラム的にいれてもいい。

**事務局** 協働の研修講師から、実施計画(案)について、いつまでにどこまで実現できれば、達成できたと考えるのか。目標設定の必要性。行政が計画を提示して、市民の方が協働したいというときの調整時期や、予算化の時期などをや目途を示すべきではないかとアドバイスがあった。「予算化の時期」は一旦庁内調整の時に確認するため、持ち帰り検討させていただきたいと考えているが、「目標」の部分についてはどうですか。

**委員** 講師からは、何か協働推進事業の施策を実施することによって、どういう状態を目指してやるのか共通の目標設定としては、例えば協働対象の事業が今現在いくつあるのか、それがより広がっていくのか。行政の中で、協働を検討すべき事業の間口が広がったか。市民アンケートで協働によってより暮らしが良くなったという回答がどれだけ増えたのか。なども一つの指標にならないか。宜野湾市として評価設定をどこにするのかを入れるべきではないかというアドバイスの内容であった。

**委員** 重点施策をどう達成したのかが目標だと思っていました。

**委員** 重点施策をやることは具体策なので、やることで何を生み出すのか、より具体的なところをみんなで目標を追っていくようなものがあったほうがより進むのではないのでしょうか。

**事務局** 今回は、何を目標にするかという共通認識がで、具体的には次回に話し合おうと考えています。

**委員** 重点施策以外の施策は、次の5年でやると触れるのか、曖昧にした方がいいのか。

**事務局** 重点施策と絡めてできるものはどんどんやっていくものだと考えています。

閉会

.